

令和7年度第1回ジュニア・市政モニターアンケート結果

テーマ 「介護・障害福祉分野の仕事のイメージについて」

- (1) 目的 日本では、人口の減少だけでなく、高齢化と少子化が同時に進んでいます。福祉分野のサービスを利用する人は日々増えている一方で、働く人は減って不足してきており、深刻な状況となっています。このため介護・障害福祉分野で働く人を増やしていく必要があることから、将来の介護・障害福祉人材に対する啓発活動等の取組も重要です。その取組のための基礎資料として活用するためアンケートを実施したものです。
- (2) 回答者数 180人
- (3) 調査期間 令和7年6月30日（月）から7月18日（金）まで
- (4) 結果要約 問15で伺った、知っている福祉の仕事としては、子どもが身近に接してきた「保育士」や「看護師、准看護師」が約90%と極めて多く、それらに続いて「ホームヘルパー（訪問介護員）」「ケアワーカー、ケアスタッフ（介護職員、介護援助員）」が60%を超えていることから、子どもたちが介護の仕事にもある程度接する機会があることが推定できる結果となりました。
- こうした中、福祉の仕事のイメージを伺った問16では、70%近くが「困っている人の支援をするので、やりがいがある」、60%近くが「感謝されることが多く、誇らしい仕事である」というプラスのイメージを抱いている一方で、「業務量が多い」「体力的にキツイ」もそれぞれ60%を超えており、大変な仕事であるという認識を持っている子どもが多いという結果になりました。
- 問17で福祉の人材が不足していることについては約60%が「知っていた」、約40%が「知らなかった」と回答し、問18で福祉の人材不足の解消のためには、「福祉人材の給与を引き上げる」、「IT機器や介護ロボットの導入等により業務負担を軽減する」がそれぞれ60%近くと最も多く、問16の大変な仕事と認識を持つ子どもが約60%であったこととリンクした結果となりました。
- 最後に問19で将来、福祉の仕事をする「やりたい」との回答が11.1%、「やりたくない」「わからない」がそれぞれ44.4%という結果になりました。

※表、グラフ内の数字は回答者数を基数とした百分率で表し、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。

※問3～問10の「がん検診に対する意識や考えについて」及び問11～問14の「日常の移動手段について」は別途掲載します。

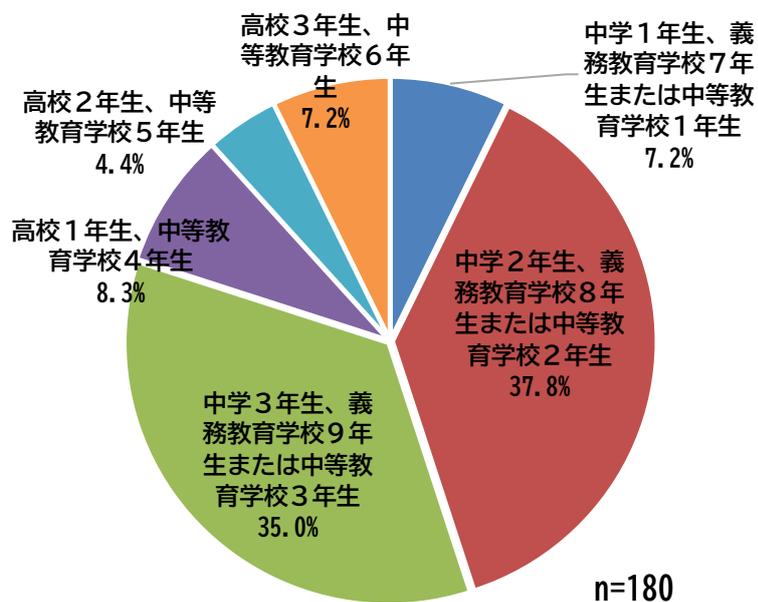
調査結果

【基本的項目について】

【問1】あなたの学年をお答えください。(〇は1つ)

- 1 中学1年生、義務教育学校7年生または中等教育学校1年生
- 2 中学2年生、義務教育学校8年生または中等教育学校2年生
- 3 中学3年生、義務教育学校9年生または中等教育学校3年生
- 4 高校1年生、中等教育学校4年生
- 5 高校2年生、中等教育学校5年生
- 6 高校3年生、中等教育学校6年生

選択肢	回答数	回答分布
中学1年生、義務教育学校7年生または中等教育学校1年生	13	7.2%
中学2年生、義務教育学校8年生または中等教育学校2年生	68	37.8%
中学3年生、義務教育学校9年生または中等教育学校3年生	63	35.0%
高校1年生、中等教育学校4年生	15	8.3%
高校2年生、中等教育学校5年生	8	4.4%
高校3年生、中等教育学校6年生	13	7.2%
計	180	100.0%

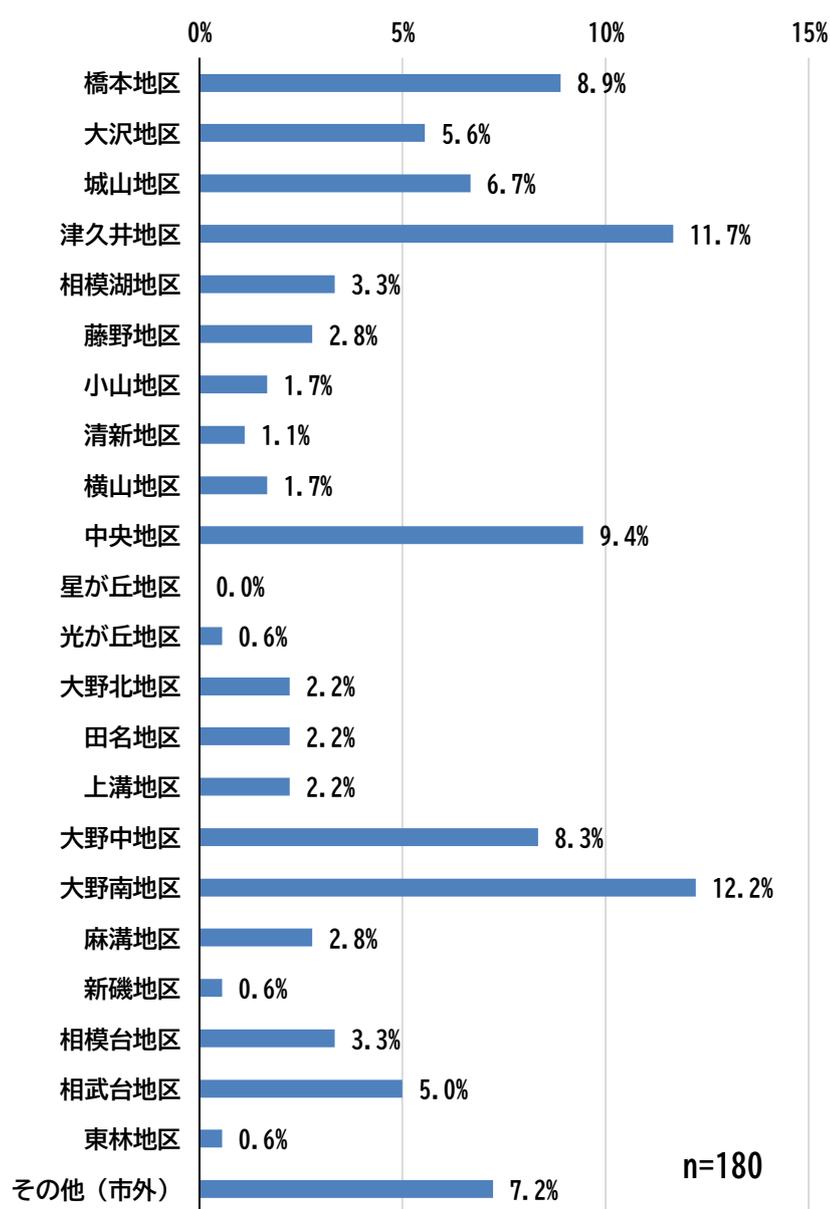


☆ 回答された方の学年は以上のとおりです。

【問2】あなたのお住まいの地区をお答えください。(〇は1つ)

【緑区】	【中央区】	【南区】	【その他】
1 橋本地区	7 小山地区	16 大野中地区	23 その他(市外)
2 大沢地区	8 清新地区	17 大野南地区	
3 城山地区	9 横山地区	18 麻溝地区	
4 津久井地区	10 中央地区	19 新磯地区	
5 相模湖地区	11 星が丘地区	20 相模台地区	
6 藤野地区	12 光が丘地区	21 相武台地区	
	13 大野北地区	22 東林地区	
	14 田名地区		
	15 上溝地区		

選択肢	回答数	回答分布
橋本地区	16	8.9%
大沢地区	10	5.6%
城山地区	12	6.7%
津久井地区	21	11.7%
相模湖地区	6	3.3%
藤野地区	5	2.8%
小山地区	3	1.7%
清新地区	2	1.1%
横山地区	3	1.7%
中央地区	17	9.4%
星が丘地区	0	0.0%
光が丘地区	1	0.6%
大野北地区	4	2.2%
田名地区	4	2.2%
上溝地区	4	2.2%
大野中地区	15	8.3%
大野南地区	22	12.2%
麻溝地区	5	2.8%
新磯地区	1	0.6%
相模台地区	6	3.3%
相武台地区	9	5.0%
東林地区	1	0.6%
その他(市外)	13	7.2%
計	180	100.0%

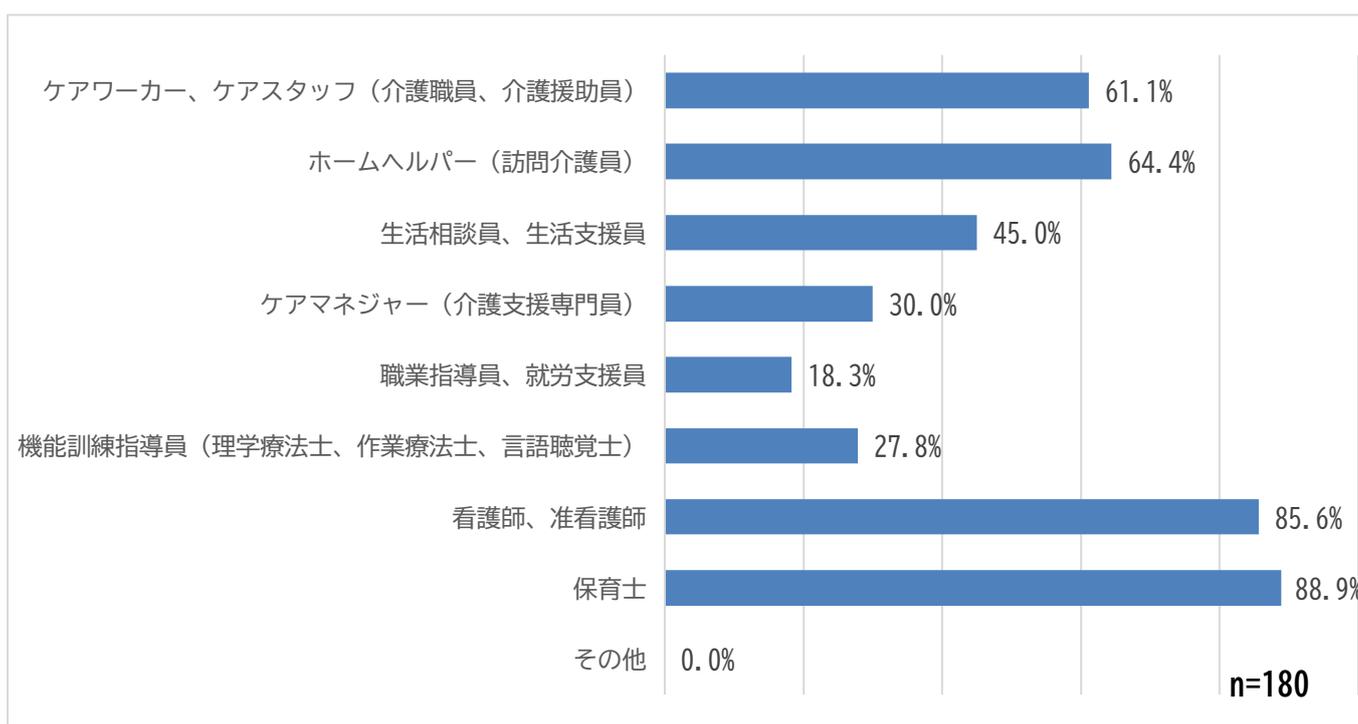


☆ 回答状況は以上のとおりです。

【問 15】 あなたの知っている福祉の仕事を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | ケアワーカー、ケアスタッフ（介護職員、介護援助員） |
| 2 | ホームヘルパー（訪問介護員） |
| 3 | 生活相談員、生活支援員 |
| 4 | ケアマネジャー（介護支援専門員） |
| 5 | 職業指導員、就労支援員 |
| 6 | 機能訓練指導員（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士） |
| 7 | 看護師、准看護師 |
| 8 | 保育士 |
| 9 | その他（具体的に： _____) |

選択肢	回答数	回答割合
ケアワーカー、ケアスタッフ（介護職員、介護援助員）	110	61.1%
ホームヘルパー（訪問介護員）	116	64.4%
生活相談員、生活支援員	81	45.0%
ケアマネジャー（介護支援専門員）	54	30.0%
職業指導員、就労支援員	33	18.3%
機能訓練指導員（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）	50	27.8%
看護師、准看護師	154	85.6%
保育士	160	88.9%
その他	0	0%

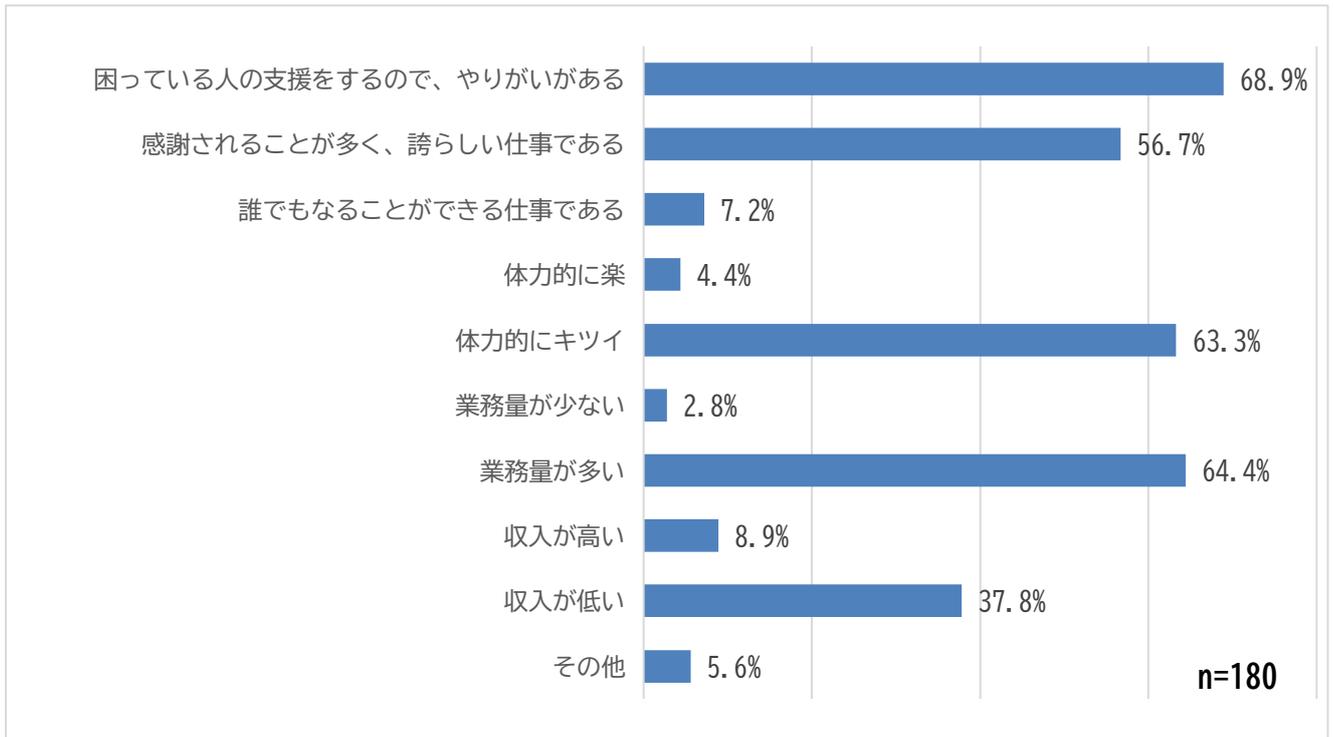


☆ 「保育士」が 88.9%、「看護師、准看護師」が 85.6%と多く、次いで「ホームヘルパー（訪問介護員）」が 64.4%、「ケアワーカー、ケアスタッフ（介護職員、介護支援員）」が 61.1%という結果になりました。

【問 16】 あなたは福祉の仕事についてどのようなイメージを持っていますか（○はいくつでも）

- | | |
|----|------------------------|
| 1 | 困っている人の支援をするので、やりがいがある |
| 2 | 感謝されることが多く、誇らしい仕事である |
| 3 | 誰でもなることができる仕事である |
| 4 | 体力的に楽 |
| 5 | 体力的にキツイ |
| 6 | 業務量が少ない |
| 7 | 業務量が多い |
| 8 | 収入が高い |
| 9 | 収入が低い |
| 10 | その他（具体的に： _____） |

選択肢	回答数	回答割合
困っている人の支援をするので、やりがいがある	124	68.9%
感謝されることが多く、誇らしい仕事である	102	56.7%
誰でもなることができる仕事である	13	7.2%
体力的に楽	8	4.4%
体力的にキツイ	114	63.3%
業務量が少ない	5	2.8%
業務量が多い	116	64.4%
収入が高い	16	8.9%
収入が低い	68	37.8%
その他	10	5.6%



☆ 「困っている人の支援をするので、やりがいがある」が68.9%、次いで「業務量が多い」が64.4%、「体力的にキツイ」が63.3%という結果になりました。

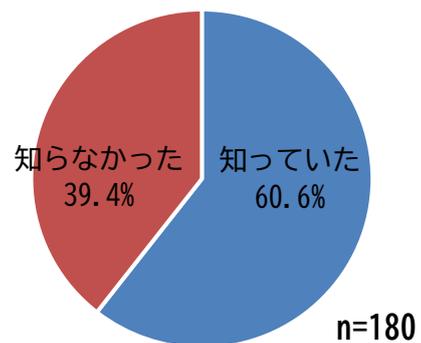
≪その他の主な内訳≫

- ・人が足りないから就職しやすい
- ・精神的に負担がかかりそう
- ・みんなにとって必要な仕事 等

【問17】 あなたは福祉の人材が不足していることについて、知っていましたか（回答は1つ）

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

選択肢	回答数	回答割合
知っていた	109	60.6%
知らなかった	71	39.4%
計	180	100.0%

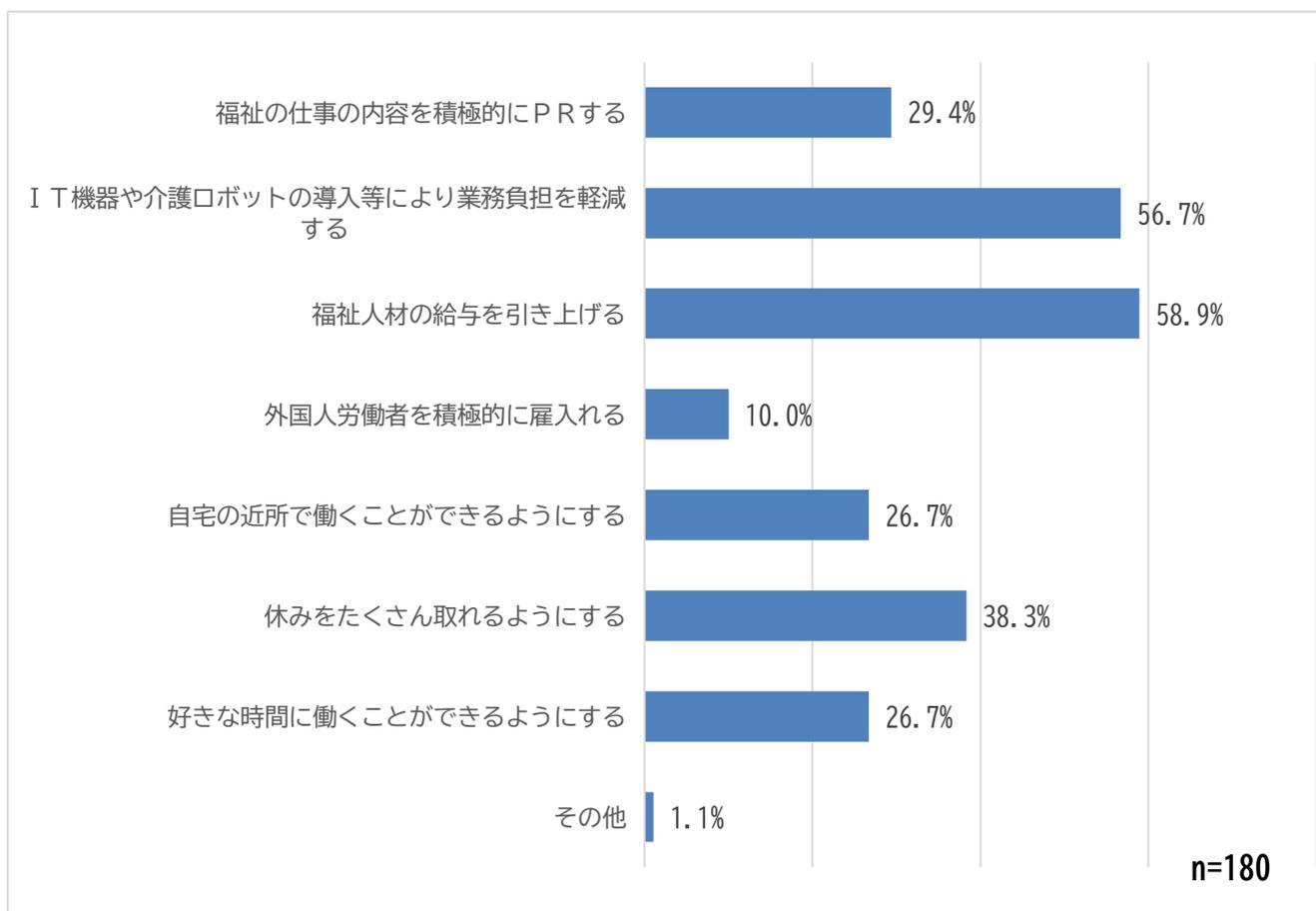


☆ 「知っていた」が60.6%、「知らなかった」が39.4%という結果になりました。

【問18】 福祉の人材不足について、どうすれば改善できると思いますか（回答は3つまで）

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 福祉の仕事の内容を積極的にPRする |
| 2 | IT機器や介護ロボットの導入等により業務負担を軽減する |
| 3 | 福祉人材の給与を引き上げる |
| 4 | 外国人労働者を積極的に雇入れる |
| 5 | 自宅の近所で働くことができるようにする |
| 6 | 休みをたくさん取れるようにする |
| 7 | 好きな時間に働くことができるようにする |
| 8 | その他（具体的に： _____) |

選択肢	回答数	回答割合
福祉の仕事の内容を積極的にPRする	53	29.4%
IT機器や介護ロボットの導入等により業務負担を軽減する	102	56.7%
福祉人材の給与を引き上げる	106	58.9%
外国人労働者を積極的に雇入れる	18	10.0%
自宅の近所で働くことができるようにする	48	26.7%
休みをたくさん取れるようにする	69	38.3%
好きな時間に働くことができるようにする	48	26.7%
その他	2	1.1%



☆ 「福祉人材の給与を引き上げる」が58.9%、次いで「IT機器や介護ロボットの導入等により業務負担を軽減する」が56.7%、「休みをたくさん取れるようにする」が38.3%という結果になりました。

《その他の意見》

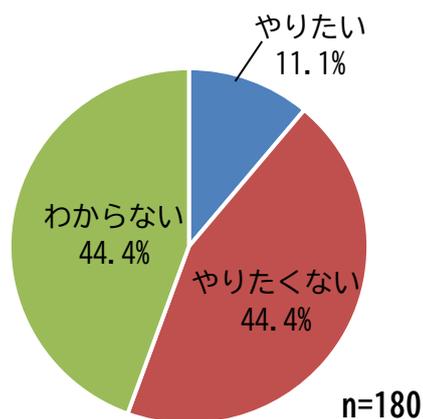
- ・誰でも参加できるようにすればいい
- ・足りないという現状を知ってもらう

【問 19】 あなたは将来、福祉の仕事をやりたいと思いますか。その理由も教えてください。

(回答1つと具体的な理由)

1	やりたい	(1の理由：)
2	やりたくない	(2の理由：)
3	わからない	(3の理由：)

選択肢	回答数	回答割合
やりたい	20	11.1%
やりたくない	80	44.4%
わからない	80	44.4%
計	180	100.0%



☆ 「やりたくない」と「わからない」が同率で44.4%、「やりたい」が11.1%という結果になりました。

≪「やりたい」の主な理由≫

- ・人の役に立つことの出来る仕事だから
- ・とてもやりがいがあり、感謝される仕事だから
- ・自分の兄が障害者なので身近で支えてきた分、私が社会に出ても障害者の方の支援をしたいと思い、将来は福祉の仕事をしたいと考えています
- ・父が理学療法士、母が言語聴覚士だから
- ・たくさんの人を自分の力で手伝えることをしたいと思ったから 等

≪「やりたくない」の主な理由≫

- ・将来の夢が決まっているから
- ・自分の性格的に相手にも自分にも良い結果を残せそうにないから
- ・高齢者を支えるために福祉の人材が必要なのはわかるが、福祉の仕事は大変で休みも取れないイメージがあるから
- ・もっと収入の良い仕事に就きたい
- ・仕事内容に見合った給料だと思えない。話を聞くほど、やりがい搾取にしか思えない 等

≪「わからない」の主な理由≫

- ・まだ将来のことが決まってないのでわからない
- ・やりがいはあるが、業務量が多く、今のままでは大変だと思うので、すぐには決められない
- ・身近にそういう人がいなかったり、福祉の仕事を詳しく知らないから
- ・人の役に立つのは嬉しいことだけど、実際その立場になった時、純粋な気持ちで支えになれるかわからないから
- ・特に視野に入れてなかったから 等

今後の活用

今回のアンケートでは、未来を担う子どもたちが、介護・障害福祉分野の仕事にどのようなイメージを持っているのか、また人材不足を解消する取組についてのヒントや将来の就労への興味などについて、大変貴重な回答、意見を得ることが出来ました。

こうした子どもたちが、介護・障害福祉分野の仕事を正しく認識し、他の職業と共に幅広い職業の選択肢に加わり、人材不足が解消されることを目指して、啓発内容や方法を検討する際の参考資料として、今回の結果を活用してまいります。

「介護・障害福祉分野の仕事のイメージについて」に関するお問合せは、こちらへお願いいたします。

相模原市 健康福祉局地域包括ケア推進部 福祉基盤課

電話 042-707-7046(直通)

〒252-5277 相模原市中央区中央 2-11-15 市役所本館 4 階